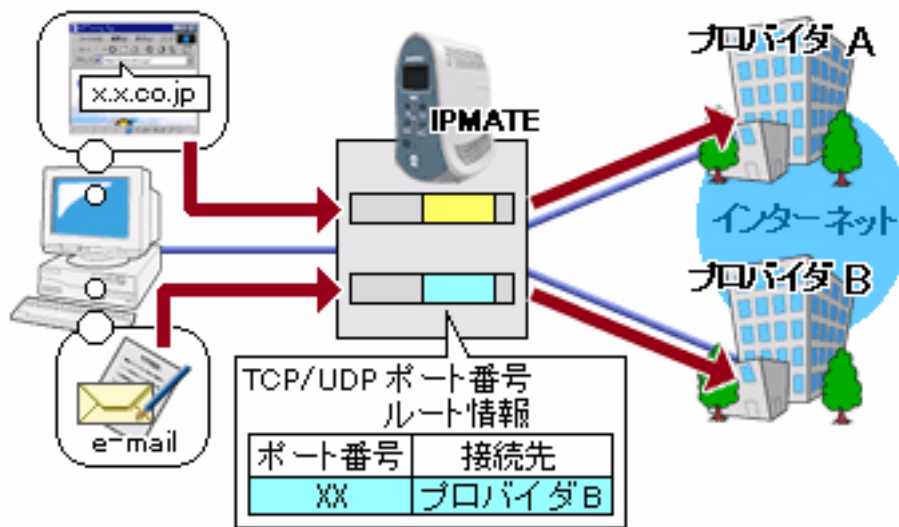


3 利用サービスごとに、接続するインターネットプロバイダを変更する

利用するサービス（例えば ftp や電子メール）ごとに、接続するインターネットプロバイダを切り替えることができます。本商品は、指定したサービスを受信すると、自動的にインターネットプロバイダを選択し、接続します。このような動作をするためには、「使用するアプリケーションで接続先を選択（TCP/UDP ポート番号ルート情報）」にてアプリケーションと接続先の対応を登録し、特定サービスの接続先を指定します。



■設定のポイント

- ・ 設定用のパソコンを 1 台決め、WWW ブラウザによる設定を行ないます。
- ・ 利用するインターネットプロバイダそれぞれから通知された、電話番号、ユーザ ID、認証パスワード、DNS サーバアドレスを、それぞれ接続先 No1、接続先 No2 に設定します。
- ・ 既存の LAN に DHCP サーバがある場合は、本商品の DHCP サーバ機能を「使用しない」に設定します。
- ・ 利用するサービスによって接続先を変更するよう、TCP/UDP ポート番号ルート情報を設定します。特定のサービスで接続先を固定する場合、対象としたいサービスの「プロトコル」と「ポート番号」を調べ、そのポート番号と接続先の No を設定します。

ポート番号については「TCP/UDP ポート番号一覧」をご覧ください。

■動作条件

インターネットプロバイダ A に接続

- ・ インターネットプロバイダ指定の DNS サーバ（100.101.102.103 と 100.101.102.104）を使用します。
- ・ 電子メール以外のサービスを利用します。

インターネットプロバイダ B に接続

- ・ DNS サーバアドレスは自動取得とします。
- ・ 電子メールサービスのみを利用します。
- ・ インターネットプロバイダ指定のメールサーバ（メールサーバ名 =xx.ocn.ne.jp）を使用します。

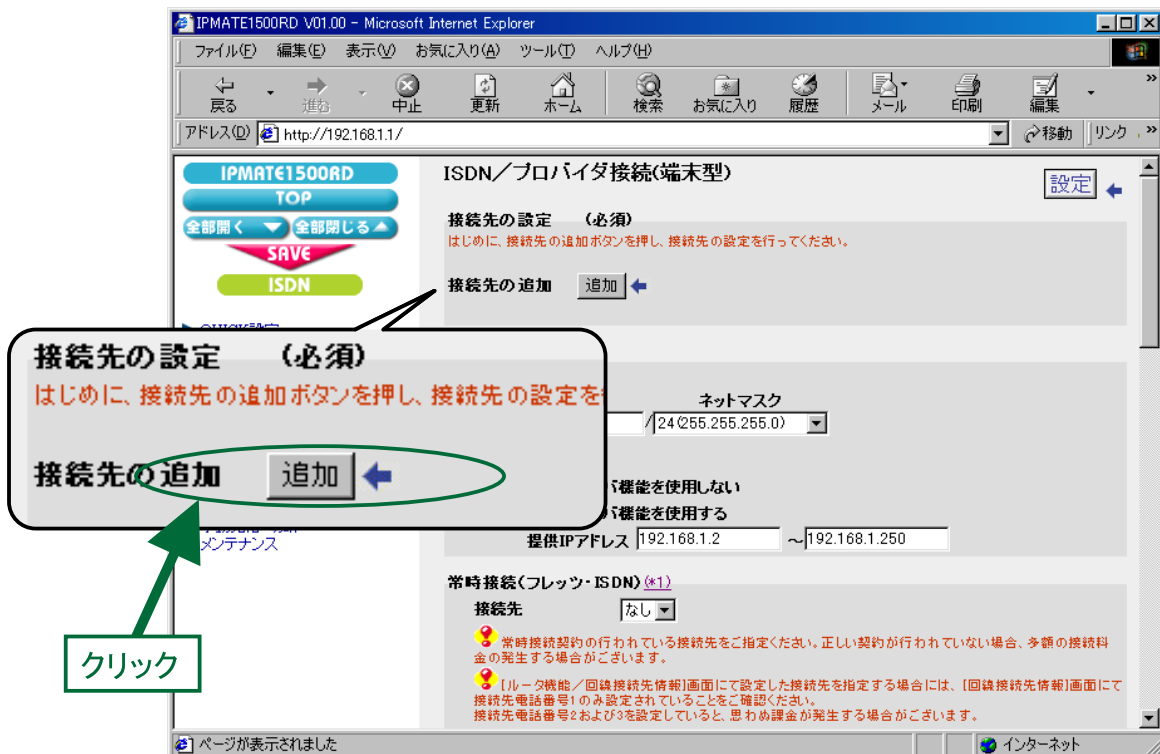
■設定例

1. 設定用のパソコンを 1 台決め、パソコンを本商品に接続します。
WWW ブラウザを起動したのち、本商品にログインします。

2. TOP ページが表示されます。
インターネットプロバイダ A への接続先の設定を行います。
「QUICK 設定」メニューより「ISDN / プロバイダ接続 (端末型)」画面をクリックします。



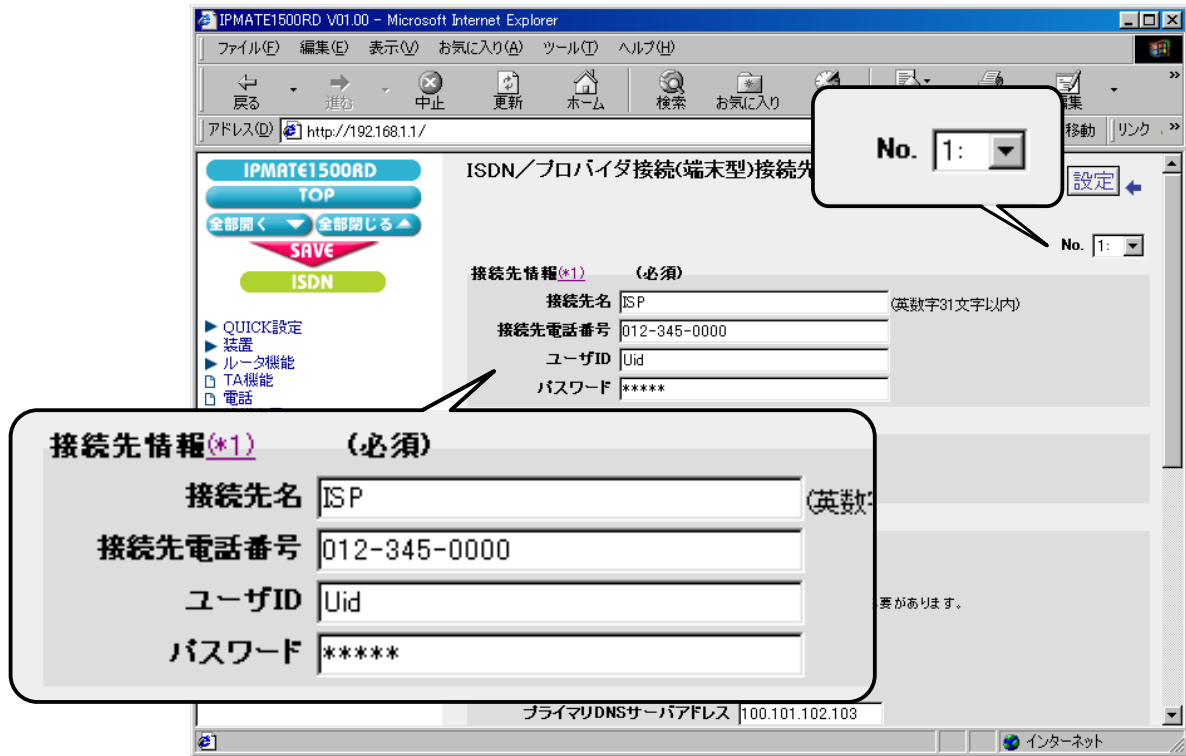
3. 「ISDN / プロバイダ接続 (端末型)」画面が表示されます。
接続先を登録します。「接続先の設定」で [追加] ボタンをクリックします。



4. 「ISDN／プロバイダ接続（端末型）接続先の設定」画面が表示されます。
次の項目を設定します。

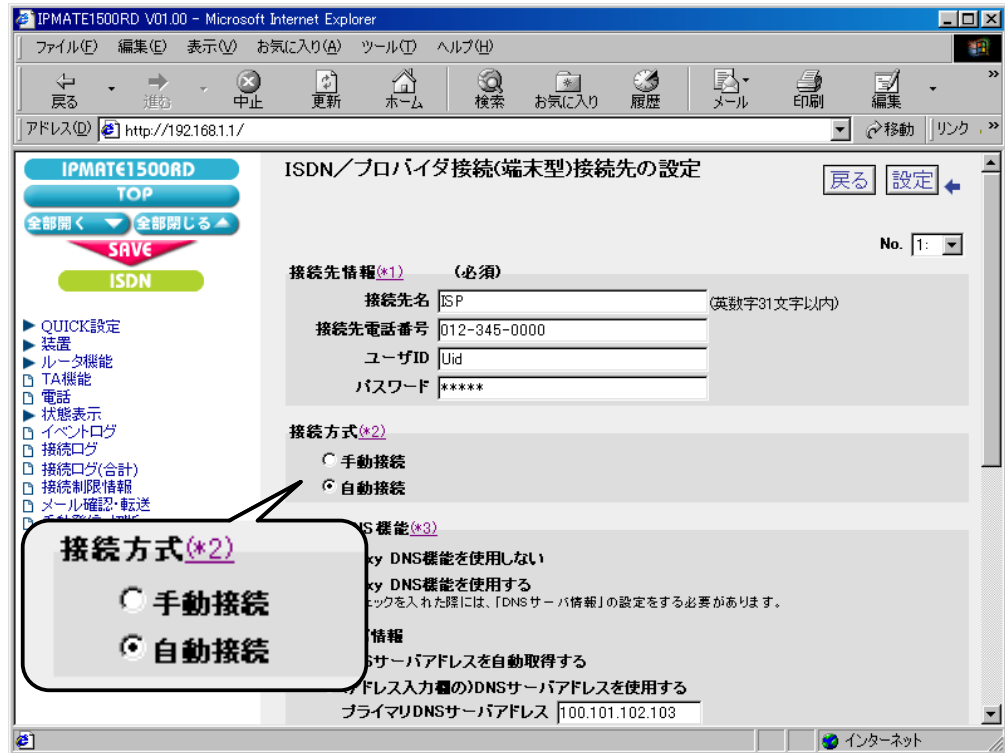
(1) 接続先情報

項目	設定例	備考
No	No1	
接続先名	ISP	任意の名前を設定します。
接続先電話番号	012-345-0000	
ユーザID	Uid	インターネットプロバイダとの契約内容にしたがって設定してください。
パスワード	pass1	



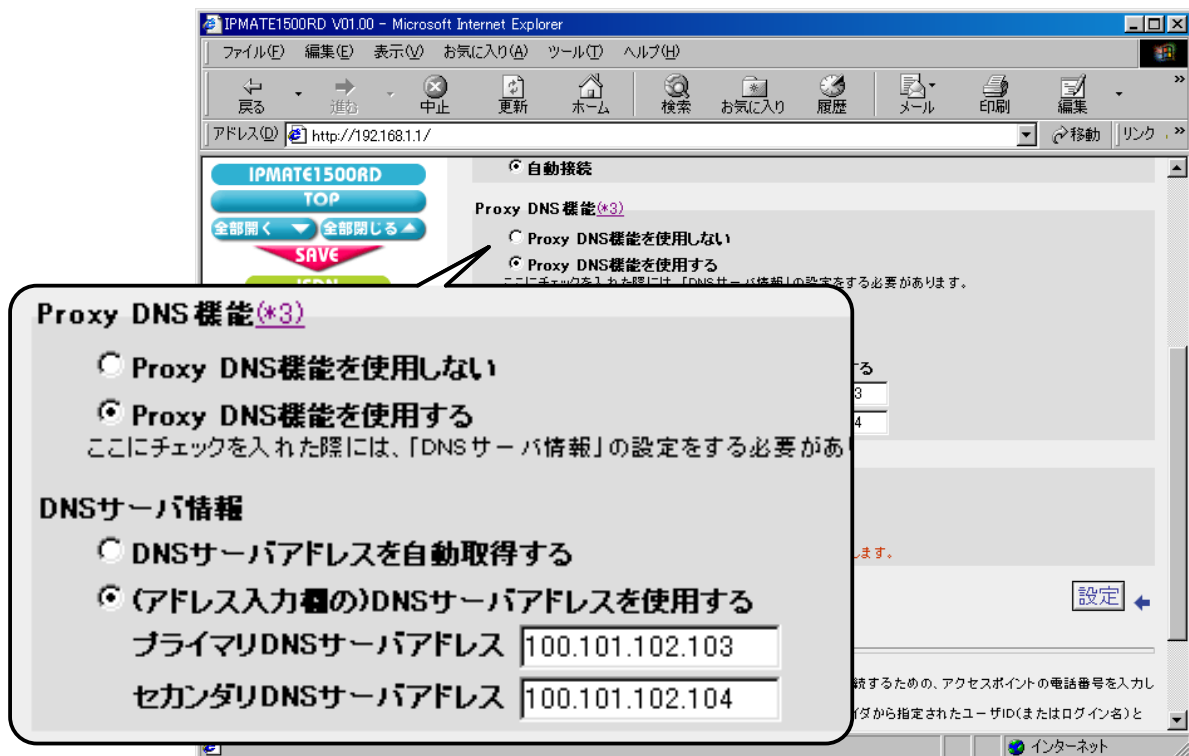
(2) 接続方式

項目	設定例	備考
接続方式	自動接続	



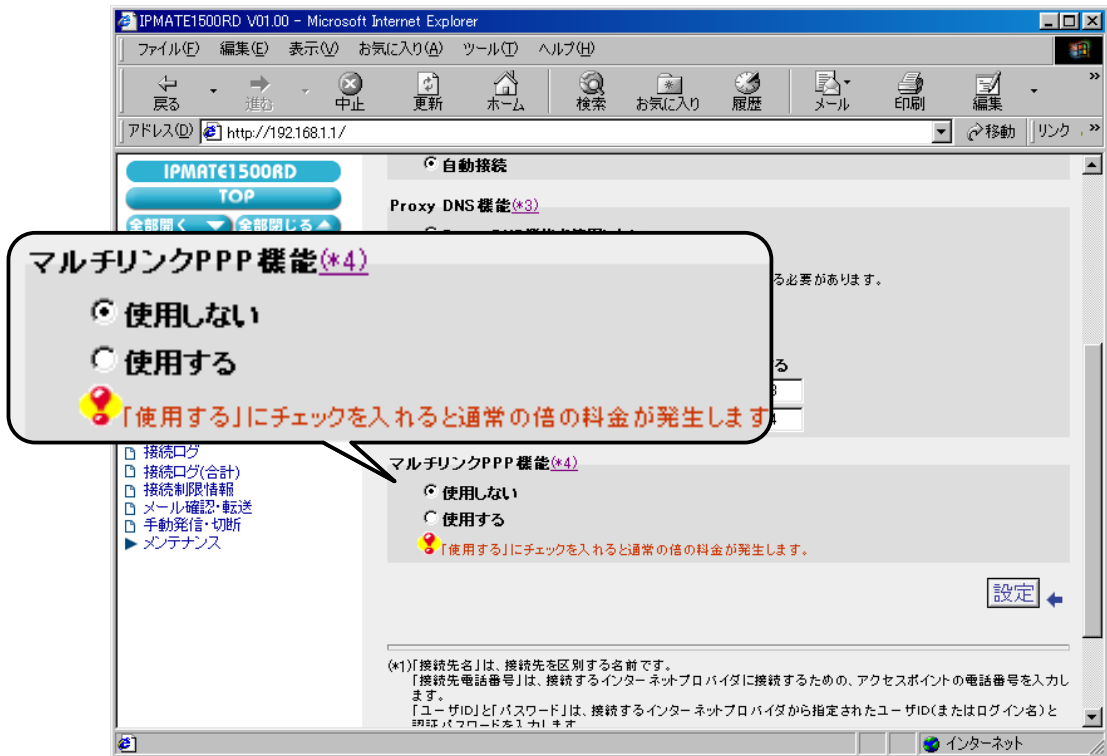
(3) Proxy DNS 機能

項目	設定例	備考
Proxy DNS 機能を使用する (アドレス入力欄の)	チェックする	
DNS サーバアドレスを使用する	チェックする	
プライマリ DNS サーバアドレス	100.101.102.103	自動取得をサポートしているインターネットプロバイダでは、「DNS サーバアドレスを自動取得する」をチェックします。
セカンダリ DNS サーバアドレス	100.101.102.104	

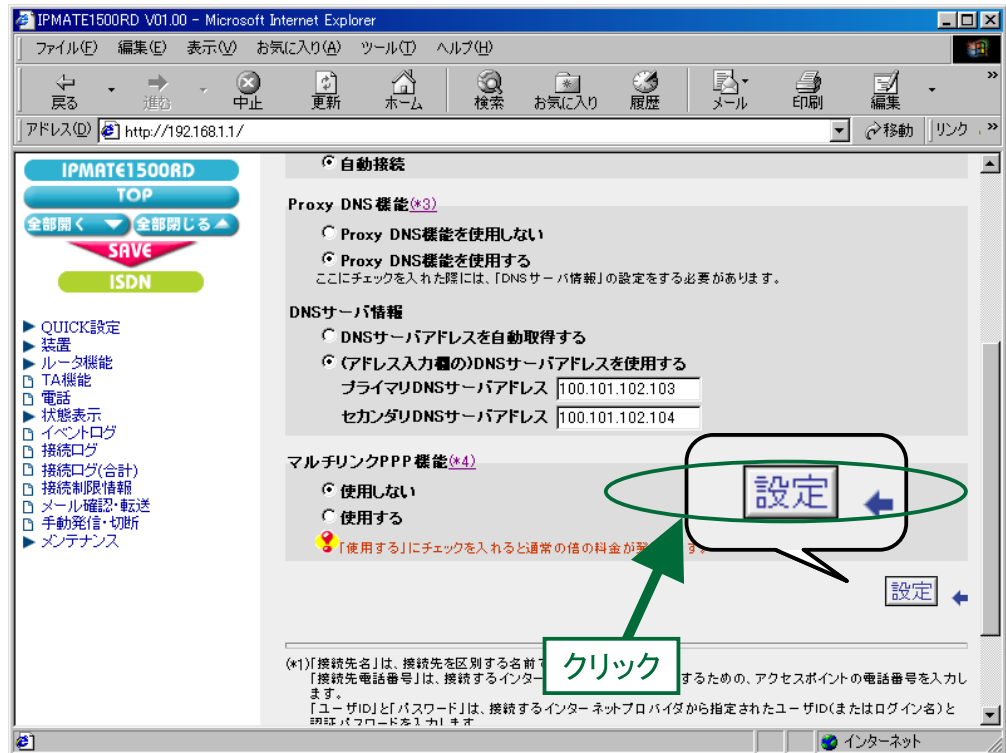


(4) マルチリンク PPP 機能

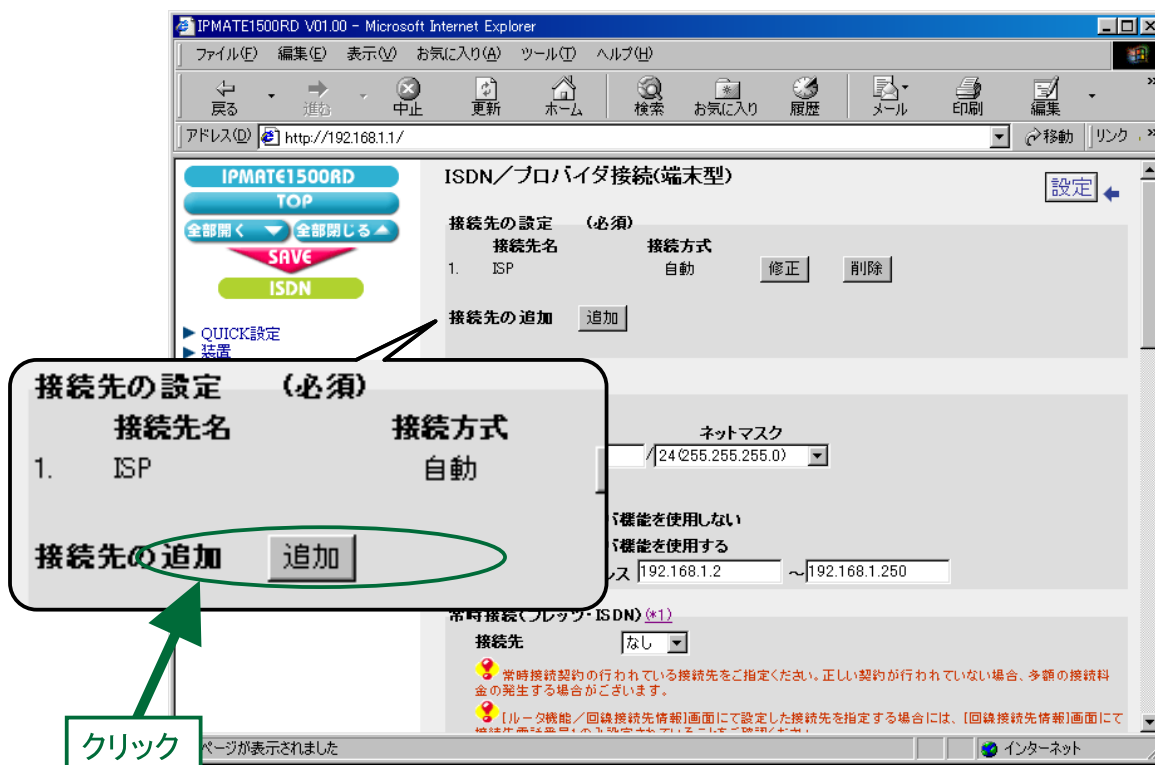
項目	設定例	備考
マルチリンク PPP 機能	使用しない	



5. [設定] ボタンをクリックします。



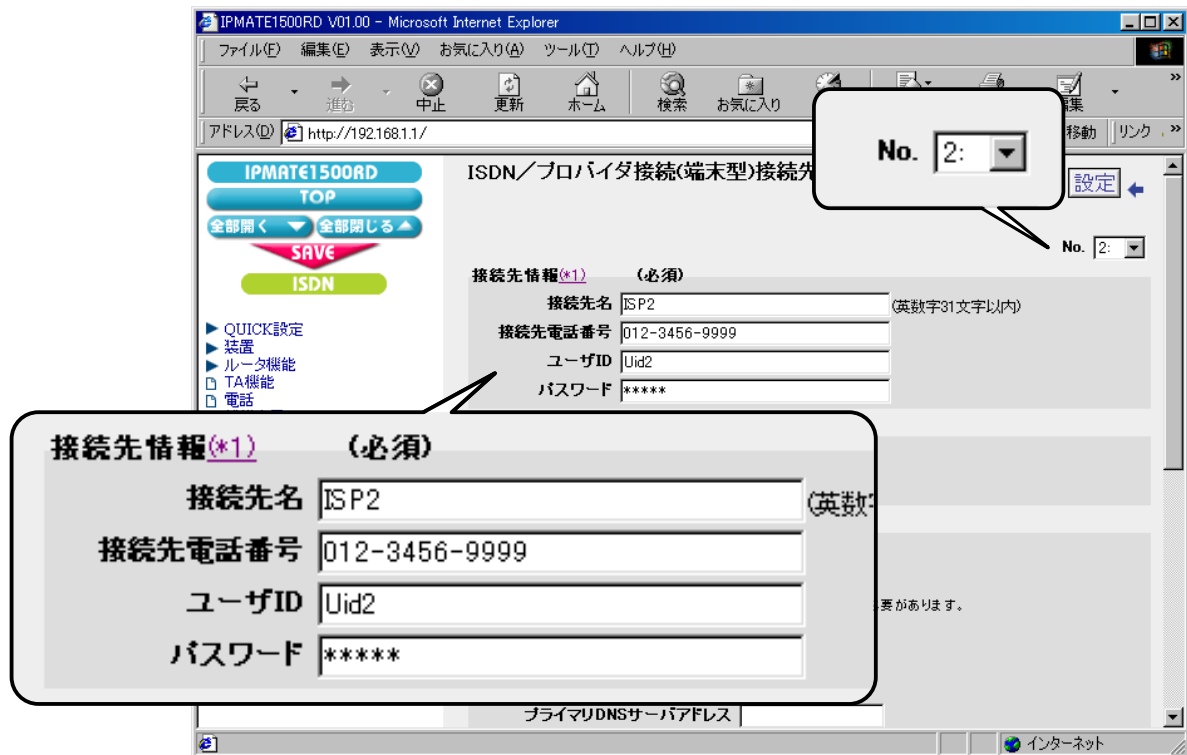
6. 「ISDN／プロバイダ接続（端末型）」画面に戻ります。
引き続き、インターネットプロバイダ B への接続先の設定を行います。
接続先を登録します。「接続先の設定」で [追加] ボタンをクリックします。



7. 「ISDN／プロバイダ接続(端末型)接続先の設定」画面が表示されます。
次の項目を設定します。

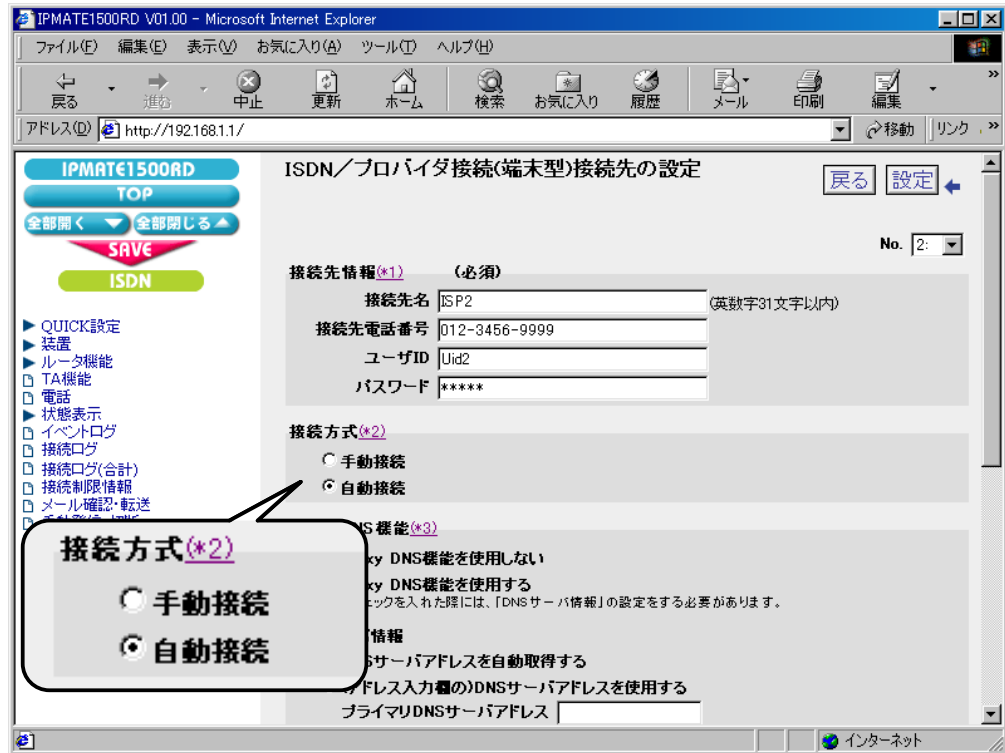
(1) 接続先情報

項目	設定例	備考
No	No2	
接続先名	ISP2	任意の名前を設定します。
接続先電話番号	012-3456-9999	インターネットプロバイダとの契約内容にしたがって設定してください。
ユーザIDU	Uid2	
パスワード	pass2	



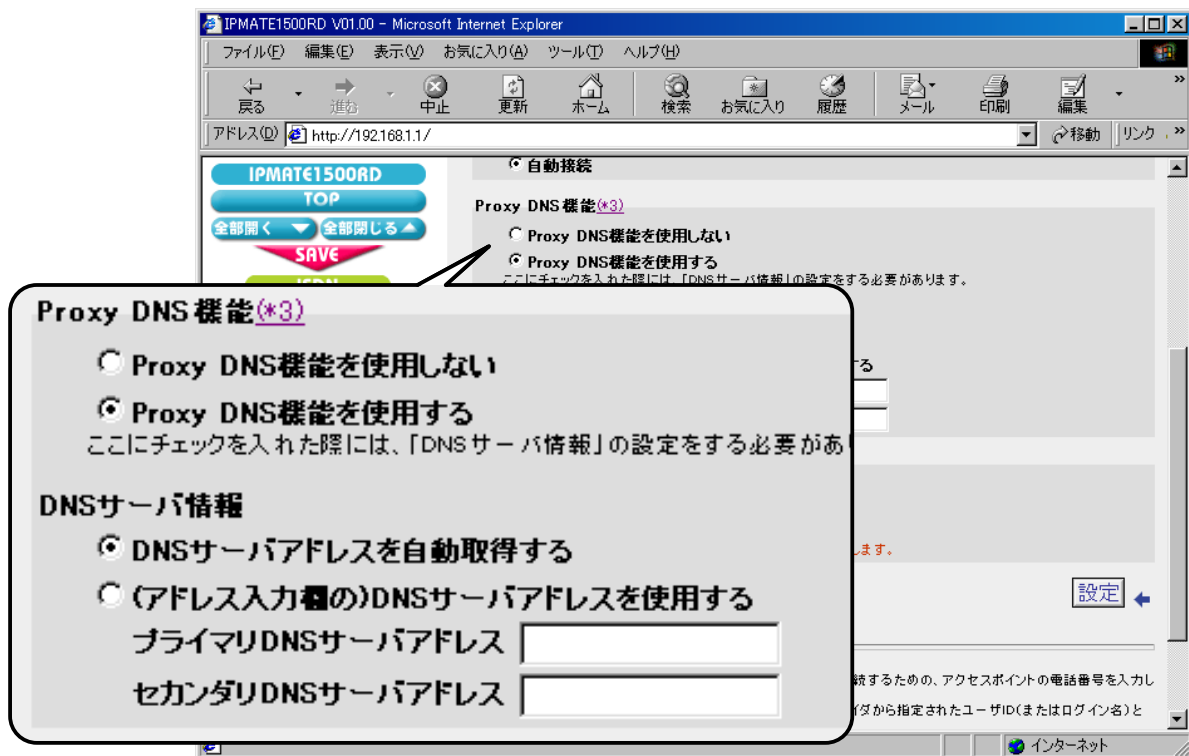
(2) 接続方式

項目	設定例	備考
接続方式	自動接続	



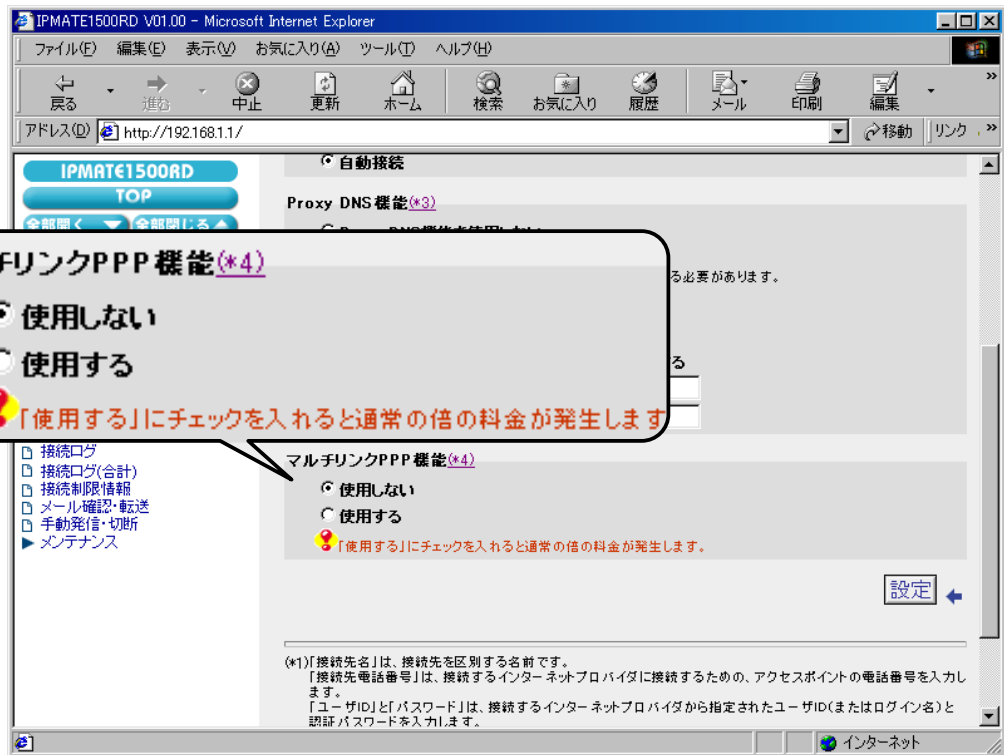
(3) Proxy DNS 機能

項目	設定例	備考
Proxy DNS 機能を使用する	チェックする	
DNS サーバアドレスを自動取得する	チェックする	

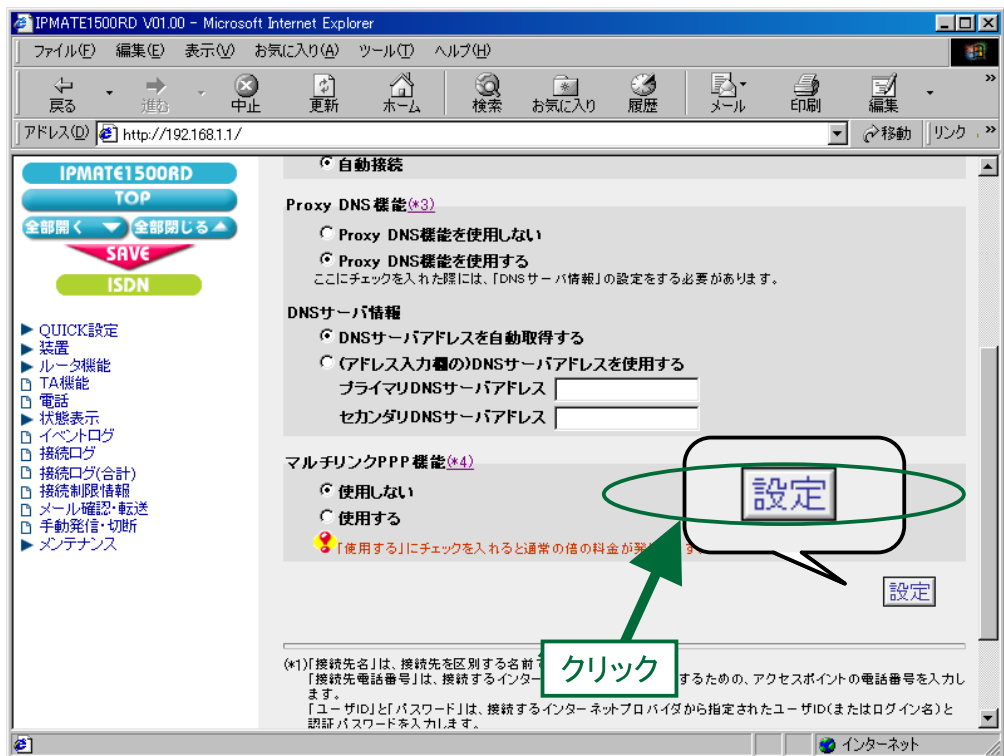


(4) マルチリンク PPP 機能

項目	設定例	備考
マルチリンク PPP 機能	使用しない	



8. [設定] ボタンをクリックします。



9. 「ISDN / プロバイダ接続 (端末型)」画面に戻ります。
 引き続き、「使用するアプリケーションで接続先を選択」と、メールサービスの接続先 (ドメイン名による DNS 問い合わせ先の選択) の設定を行います。
 「接続先の選択条件」の「使用するアプリケーションで接続先を選択」にて、次の項目を設定します。

項目	設定例	備考
メールを送信 (SMTP)	チェックする	ポート番号は 25
接続先 No	2 : ISP2	
メールを受信 (POP3)	チェックする	ポート番号は 100
接続先 No	2 : ISP2	



10. 「DNS 問い合わせ先の選択」の「ドメイン名による DNS 問い合わせ先の選択」にて、次の項目を設定します。
 * デフォルト DNS が接続先 A（接続先名：ISP）になっていることを確認してください。

項目	設定例	備考
ドメイン名	xx.ocn.ne.jp	
DNS 問い合わせ先	2：ISP2	

DNS 問い合わせ先の選択(*5)
 ProxyDNSの問い合わせ先(*6) 1:ISP
 ドメイン名によるDNS問い合わせ先の選択
 ドメイン名 DNS問い合わせ先
 xx.ocn.ne.jp 2:ISP2
 なし
 なし
 なし
 ドメイン名を入力する際は、ドメイン名以外の余計な文字http://やhttps://、また、全角文字の入力はできません。

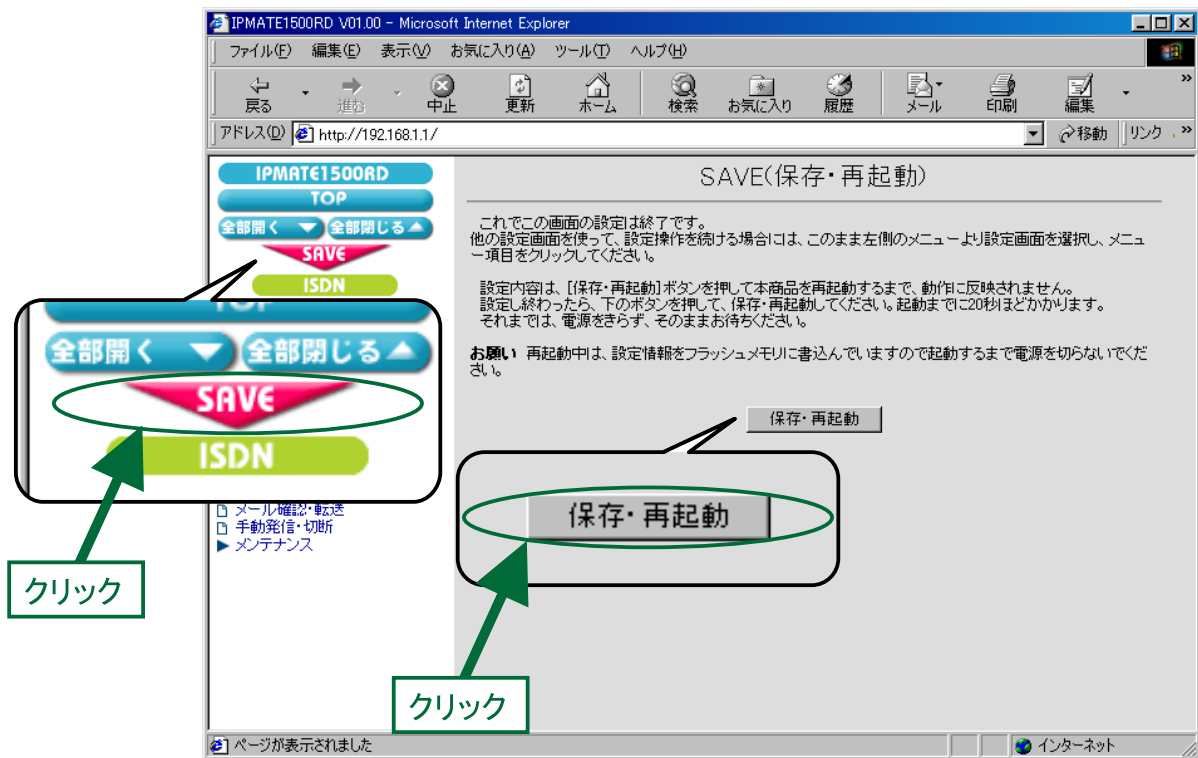
11. [設定] ボタンをクリックします。
 * 「LAN 側の設定」「常時接続」「タイマ接続」の設定は不要です。
 初期状態のままお使いください。

クリック

12. 再起動画面が表示されます。

[SAVE] ボタンをクリックし、[保存・再起動] ボタンをクリックすると、再起動されます。

本商品の液晶ディスプレイに「ISDN READY」または「Layer1 Up」が表示され、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。



以上で終了です。